

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	勝目 吉昭
事務事業名	甌アイランドウォッチング事業			担当者	下松 勝浩
所管部課名	教育部 学校教育課			事業の根拠 (根拠法令)	薩摩川内市教育委員会関係補助金等交付要領 甌アイランドウォッチング事業補助金交付要領
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	幼児教育・学校教育等の充実
				施策 (項)	学校教育の充実
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育総務費		目	教育振興費
	事項	教育育成費	細事項		

事業の概要

全小学校の4年生児童(複式校は3年生児童も含む)に甌島を訪れる機会を与え、ふるさと薩摩川内市を深く理解させるとともに、一体感の醸成を図る。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	小学校4年生児童(複式校は3年生児童)	事業開始年度			平成22年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	甌島への一日遠足費用の補助	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	①	参加児童数		
				最終目標値	②	全児童の参加		
				最終年度	①	26年度		
意図 (どのような目的で 事業を行うか)	豊かな自然や伝統文化にふれる貴重な体験を通して甌島の特色を理解し、薩摩川内市の全体像を体感し、一体感を醸成する。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	①	児童へのアンケート調査			
			最終目標値	②	「甌島に行ってよかったか」との回答100%			
			最終年度	①	26年度			
コスト・指標の推移	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	平成26年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		2,626	3,028	3,500	3,250	3,000
		合計(A)		2,626	3,028	3,500	3,250	3,000
	従事職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(B)	千円	800	800	800	800	800	
	従事嘱託員数	人						
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	3,426	3,828	4,300	4,050	3,800	
	活動指標の推移	①	参加児童数	1201	890	987	950	900
②								
成果指標の推移	①	アンケート結果	87%	99%	99%	100%	100%	
	②							

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

- ① 各小学校と串木野新港間の往復に要する経費(バス借上料)
- ② 串木野新港と甌島区域の港間の往復の交通費(船舶運賃)
- ③ 甌島区域内における移動のための経費(バス借上料)
- ①~③の経費の合計額から保護者負担額(児童1人当たり1,500円)を差し引いた額

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 実際に甌島を訪れ自分の目で見たり、直接ふれたりする体験は、子どもたちにとってたいへん貴重な体験である。薩摩川内市の子どもたちすべてが甌島を訪れた経験を持てるように、今後も継続すべき事業である。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 学校教育の教育活動として薩摩川内市民としての一体感を醸成するという目標に照らして、市からの補助金の交付が最も妥当な政策手段であると考えます。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 本事業が学校単位で行われており、訪れる島(上島・下島)や活動計画も学校ごとに異なるため、各学校にある団体に補助した方が効率的である。また、薩摩川内市民としての一体感を醸成するという目標に照らしても、当該補助金の交付が最も効率的な政策手段であると考えます。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 人件費については、予算化されていない。
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 保護者の負担軽減を図り、すべての児童に甌島を訪問させることは、児童(市民)に甌島の価値ある自然や伝統文化に対する理解を深め、本市の一体感を醸成に大きく役立っていると考える。訪れたすべての児童が「甌島をまた訪れたい」と回答しており、今後の甌島の振興にも大きく寄与するものと考えます。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 見るだけでなく、ふれる、つくる、食べるなどの直接的な体験活動や地元児童や住民とのふれあい活動など内容を充実していくことでより良いものにしていく。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	①今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	②上記方向の理由 見るだけでなく、ふれる、つくる、食べるなどの直接的な体験活動や地元児童や住民とのふれあい活動など内容を充実していくことでより良いものにしていく。
	③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 甌島でボランティアで協力してくださっている方々への謝金や諸雑費について今後予算化を検討していく必要がある。
内部評価 (二次)	評価者名 教育部長 田畑逸郎
	①内部評価結果 妥当性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	②今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 甌島の子ども達との交流時間の検討	